

中部地区 公民館だより

第177号

令和7年10月31日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379



秋晴れの下 クイズに答えて楽しくウォーキング

10月18日(土)、地域の宝さがしウォーキングが行われました。中部地区公民館管内の北部地区を宝さがし対象地区に定め、“これぞ地域の宝！”と思うものを各グループで探しました。はじめに、上山城で学芸員の長南さんから歴史の話をお聴きし、城内を見学した後、5箇所のチェックポイントを目指して自由に対象地区を歩きました。上新丁、下新丁、新町、御井戸丁、湯町の各ポイントで「ちょっと難しいな」と頭をひねりながらクイズに答え、下新丁では子ども向けのお菓子のつかみ取りも楽しみました。2時間弱のウォークラリーでしたが、家族や友人が力を合わせ、絆を深めた事業となりました。



中学生スタッフも大活躍



ゴール後は
水風船すくい



天気にもまれ水遊びに夢中

“お宝”発見！

- ・上山城が博物館で上山の宝
- ・鏡味噌醤油店さんの赤レンガが70歳ですごい
- ・鏡味噌醤油店さんの赤電話(ダイヤル式)
- ・鏡味噌醤油店さんが100年以上の歴史があることが宝
- ・大森治豊さんは帝王切開を日本で初めてやって偉人だ
- ・自然が多いこと
- ・古峰神社(新町)が火防の神様なのがわかった

七宝焼き教室



10月22日(水)、西郷地区公民館地域活動推進員の方2名にご指導いただき、七宝焼き教室を開催しました。

初めて参加する方は、出来上りを想像しながら、形や釉薬の色を選び、デザインを考え、悩みながらも楽しさを体験しました。

何度か参加してくださった方は、以前作った作品より「もっと上手に作る」という目標に向かい意気込んで作っていました。

出来上がりは「想像とちがう」「想像より良くなったみたい」「次はもっと、うまく作る!」などと、たくさんの感想をいただきました。

自分だけの、2度と作れないオリジナル作品ができました。



やけたかな～



どんな色がいいかな～



参加者募集

一般講話（歴史の話）

上山治世（殿）のエピソード

日	時	11月12日(水)午前10時から午前11時30分
場	所	中部地区公民館 多目的ホール
講	師	水岸山観音寺住職 鎌上 宏さん
対	象	中部地区管内在住の方
参	加	無料
持	ち	必要な方は飲み物

参加申込みはすべて11月4日(火)
午前9時から受付します



参加者募集

街歩きウォーキング④

心地よい秋風の中、仲丁近辺
をゆっくり散策しませんか？

武家屋敷を中心に紫苑邸などを散策します。そのほか、月岡神社などを散策します。

日	時	11月18日(火)
		午前9時30分11時30分
集合場所		中部地区公民館 ギャラリー
講師		仲丁地区会長 高橋 茂さん
対象		中部地区管内在住の方
募集人数		15人程度
参加費		無料
持ち物		必要な方は飲み物
その他		帽子、履きなれた靴

出前スポーツ教室

ミニフットゴルフ

足でボールをけて行うゴルフ「フットゴルフ」をさらに身近に、誰でも簡単に楽しめるように改良したものが「ミニフットゴルフ」です。男性でも女性でも一緒に楽しめるスポーツです

日	時	12月5日(金)
		午前10時から午前11時
場所		中部地区公民館 多目的ホール
講師		かみのやまスポーツクラブ
対象		中部地区管内在住の方
募集人数		15人程度
参加費		無料
持ち物		必要な方は飲み物
その他		ボールをけるのでできればうち履き

健康ポイント20P 事業

予 告

オカリナ演奏会

12月12日(金)午前10時から、日頃中部地区公民館で活動をしている「オカリナ愛好会」さんの演奏会を開催いたします。

曲目は、上を向いて歩こう、人生いろいろ、星のフラメンコ他となっております。

詳細は、12月号の公民館だよりをご覧ください。

今年もインフルエンザ流行シーズンにはいりました。

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」が大切です。

そのほか、休養も大切です。

免疫力は疲労の回復や睡眠によって保たれます。心身の疲労を回復したり身体的にも精神的にも健康能力を高めるためにも十分に休養を取りましょう。

11月の予定

1日(土)	第2回公民館大掃除
5日(水)	スポーツ教室(スリッパとばし)
11日(火)	第4回地域づくり委員会
12日(水)	一般講話(歴史の話)
18日(火)	街歩きウォーキング④
19日(水)	ふるさとふれあいフェステバル (午前中、職員は留守になります)
25日(火)	全館午前11時まで電気点検のため に停電(電話もつながりません)

はこべの会の皆様へ

11月のはこべの会のサロンはお休みになりますが、ふるさとふれあいフェステバルで上山小学校1年生と一緒に昔遊びをします。詳細は後日、ハガキにてお知らせいたします。

11月の百歳体操 6、13、20、27日

藤井松平氏シリーズ6. 松平信行（2）その出自 ～ 徳川、十八松平家のネットワーク

【お詫びと訂正】七代信愛侯は文化二（1805）年加番中3月27日に死去し、同日に美作国松平越後守康哉の五男順丸君が同年3月27日に麻布の江戸屋敷に入りました。訂正します。

七代信行侯が、どうして美作国津藩松平康哉侯四男が上山藩の跡取りになったのかを今回は探ってみます。改めてですが、いくつかの縁筋を辿りそのネットワークを紐解きます。

第一：藤井松平氏のネットワークです。

（1）古く遡って、藤井松平四代忠国の妻は戸田氏鉄の娘、つまり初代信通の祖母は美濃大垣藩初代戸田氏鉄の娘でした。忠国は上山に流謫される前の沢庵宗彭と交流がありました。更に補いますと、信通の父信之の妻は但馬出石藩二代・四代藩主小出吉英の娘でした。小出吉英といいますと上山に流罪になった沢庵和尚の郷里の領主で、上山から手紙をだした相手です。沢庵が流謫された上山に信通（初代）が封じられたことになります。

（2）信通の妹、つまり松平信之の娘は、美濃大垣藩第四代戸田氏定の正室となりました。美濃大垣藩戸田家との繋がりには両家の血が入り濃くなりました。後年になって大坂加番で“奢侈散財”した信亨が借財にすぎた美濃大垣藩主は母方叔母方血筋の遠縁だったのです。

（3）上山三代信将侯は藤井松平家支流の信濃上田藩松平忠隆の四男で、子がなかった二代長恒の跡を継ぎました。その信将の正室は美濃大垣五代戸田氏長の娘で、正室亡き後の継室は越前松平家系美作津山藩初代松平信富の娘でした。以上三角ネットワークです。

こうした婚儀は幕府の許可なく出来ません（武家諸法度：私に婚姻すべからず）ので、家系をつなぎ合わせたのが松平家のネットワークでした。徳川家を支える「松平」の系譜を差配（縁結び）したのが「老中」でした。

第二：幕閣要の「老中」の差配についてです。

（1）上山初代信通は、元禄七（1694）年に上山に入部しました。その折りの老中は父信之が古河藩からの老中でしたが、藤井松平氏が改易されたその後を古河藩土屋政直が当たり、信之

亡きあとを継いでいた忠之（信通の兄）“発狂”、封地没収の松平信之次男信通の再興、移封先の面倒見たと察せられます。

（2）二代長恒子なき後の三代信将入封享保十七（1732）年には、藤井松平家支流松平忠周（信濃上田藩）が老中職で、後の老中面々への進言があったと察せられます。

（3）七代信行の上山藩家督相続文化二（1805）年時には、牧野忠精（越後長岡藩）、土井利和（下野古河藩）、青山忠裕（丹波篠山）の三老中が当たっていました。

第三：大坂加番をよく勤め「大坂城代」「大坂加番相番」との関わりがあります。

（1）上山四代信亨の子信古が加番一回目寛政四（1792）年、二回目寛政六（1794）年の折りの大坂城代は牧野忠精（越後長岡藩、後に京都所司代、老中）でした。

（2）「奢侈放蕩」と記された信亨ですが、四回目の相番、五回目相番に丹波亀山藩主松平信義（信亨の養女が母〔※信愛の養女ではない『御傳記119p』〕、後に老中）がいます。また、信古第一回加番の折りの相番は美作国勝山藩三浦前次がいます。大坂加番の相番は一年間を通じて加番各屋敷を往来し情報のやりとり、交流、誼が深まったことでしょう。こうした城代、相番の縁を深掘りすれば、上山藩で多大の「浪費」をしたとされる信亨は、実は藤井松平家の将来に備えたロビー活動費（接待・進物費）に費やした散財だったと推察することが出来ます。信亨が帰府の折りの借財先が実は縁戚大垣藩戸田侯であったと考えるとネットワークがよく理解できます。度重なった上山藩主の加番中の三度の公務災害死に際し、老中は、幕府を支えさせる「藤井松平家」への救済措置であったと考えることができます。江戸麻布屋敷滞在中は見知りの藩主へのご機嫌伺い挨拶があったことでしょう。

こうして、今回の信行侯が美作国津山藩からの跡継ぎであったことが了解されます。このネットワークにより「支領替え」へつながっていくのです。

※参照文献：『市史・上』、市史資料『藤井御伝記』①、他